



ミッドランド市体験記

半田東高校 3年

伊藤 康太

ミッドランド市はとても自然が豊かな町です。森の中を歩くことができる施設があったり、町の中にも自然が多く、リスなどの野生動物が家の庭に来ることも珍しくはありませんでした。夜は20時ごろまで明るく、気候も涼しくてとても快適でした。少し郊外に出ると、果樹園も多く、ブルーベリーやラズベリーの収穫シーズンでした。

移動は基本的に車です。高校生の通学は自分で車を運転して行くか、スクールバス。夜に町を歩いている人はほとんどいませんでした。帰国した晩、夜道をウォーキングする人たちを見たときに日本の安全性を再認識しました。

今回の派遣で、ミッドランド市の人々はとても明るい人が多いと感じました。初めて会った人でも気軽に声をかけてくれて、私が日本から来たと伝えると「自分や家族が日本の～に行ったことがある」など話してくれる人もいました。





会話をするなかで相手の言葉が聞き取れず、何を言っているのか理解できないこともありました。そういうときは私が理解できるようにできるだけシンプルな表現に言い換えてくれました。その優しさはコミュニケーションをする楽しさを教えてくれました。

また、ホストファミリーと一緒に何度か料理にチャレンジしました。初めての食材や調理法に戸惑うこともありましたが、丁寧に道具の使い方や作り方を教えてくれました。言葉が完璧に通じなくても、見よう見まねで身振り手振りを交えて一緒に料理する時間はとても楽しかったです。料理を通じてアメリカの食文化を知ることもできました。

一番苦労したことは英語のアクセントや発音です。会話をするなかで「nephew」という単語を伝えようとしたときに「p」を発音してしまい、伝わらないことがありました。固有名詞ではアクセントの位置がずれていることで分かってもらえないことが何度かありました。そういうときには、別の表現で言ってみたり、曖昧なものは発音を調べてから確実に伝わるようにすることで乗り越えることができました。

また、このホームステイの間にかくつか気づきもありました。アメリカの家庭では食事の用意から片付けまでを家族みんなでしたり、朝食もみんな揃って食べていました。料理は「仕事」ではなく「家族の大切な時間」という感覚を持っていました。日本とは交通ルールも異なり、赤信号でも右折はしてよいことがあるなどの違いに驚きました。家での時間の使い方も趣味の時間を作ったり、夜は家族でカードゲームをしたりするなど、たくさんの違いを経験しました。





今回の派遣でホストファミリーと日常を共にすることで、文化や習慣のちがいを肌で感じることができました。

- ・異なる背景の人々を理解し、尊重すること
- ・勇気を出して新しいことに挑戦すること
- ・感謝の気持ちを表現すること

今回の派遣を通じて学んだこれらのことは、これから大切にしていきたいと思います。今回の貴重な経験により以前よりも自分の視野が広がりました。今後はこの経験を活かし、より多くの人々と交流してさらに自分自身の成長にも繋げていきたいと思っています。